

キク

Chrysanthemum morifolium

キク科キク属



主な品種	フローラル優花・・・夏ギク・白色
	星の輝・・・夏ギク・黄色
	神馬・・・秋ギク・白色
	晃花の富士・・・秋ギク・白色

花色



出荷時期 周年

キクを楽しむ

菊の歴史は古く、日本には原産地である中国から奈良時代末期に伝わりました。当時は皇室や貴族、武家といった権力者階級にしか菊の使用は許されていませんでしたが、江戸時代に入ると庶民の間にも菊の利用が広まり、以来、改良が重ねられ、品種、花形なども豊富になりました。供花の需要が多いですが、近年、洋菊を中心に切り花や鉢物などに仕立てられたものが人気を集めています。

三重県産の菊は輪菊（りんぎく）と小菊に大別されます。輪ギクは茎の先端に1輪の大きな花を咲かせる仕立て方で、葬儀などの業務用に多く使われます。伊勢市と玉城町の産地で栽培されており、関西や名古屋、東京などへ出荷されています。小菊は県内各地で栽培され、地元の産直で売られる花もたくさんあります。

主な産地・・・伊勢市、玉城町